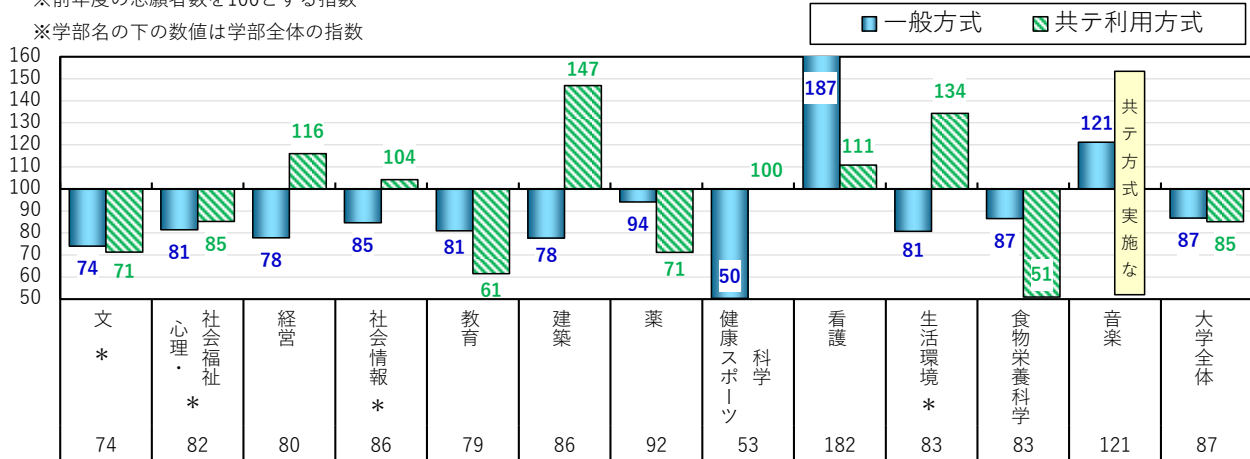


武庫川女子大：大学全体では3年連続減少、12学部中10学部が減少 一般：-1,188人 共テ：-106人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数



* 文は2022年度の(心理・社会福祉)を除いた志願者数との比較。心理・社会福祉は2022年度の文(心理・社会福祉)との比較。
 生活環境は2022年度の(情報メディア)を除いた志願者数との比較。社会情報は2022年度の生活環境(情報メディア)との比較。

主な入試変更点

学部・学科改組：文(心理・社会福祉)→心理・社会福祉(心理、社会福祉)
 生活環境(情報メディア)→社会情報(社会情報/情報メディア、社会情報/情報サイエンス)
 学科新設：健康・スポーツ科学(スポーツマネジメント)
 学科名称変更：文(英語文化)→(英語グローバル)
 選抜方法：全学部(音楽を除く)…<一般・中期B2科目型(傾斜配点型)>を新規実施
 看護(看護)…<一般・前期A2科目型><一般・中期B2科目型(同一配点型)>を新規実施
 音楽(応用音楽)…<一般・中期B2科目型(同一配点型)>を新規実施
 全学部(薬(健康生命薬科学)、音楽(演奏)除く)…<一般・中期B3科目型>を廃止
 教育(教育)、薬(薬)、食物栄養科学(食物栄養)…<共テ・D5教科型>を廃止

COMMENT

※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、コロナ禍の中での改組の周知が進まなかったことや女子大を取り巻く厳しい環境もあり1,294人(87)の減少で3年連続減少。学部別では、改組を考慮した比較では、看護(182)、音楽(121)の2学部が大幅増加、これらを除く10学部は減少で、薬(92)、社会情報(86)、建築(86)を除く7学部が大幅減少。方式別では、一般方式(87)は<一般・中期B3科目型>を廃止し、科目負担の少ない<一般・中期B2科目型>を新設したが、志願者数の増加に繋がらず3年連続減少。学部別では、看護(187)、音楽(121)の2学部が大幅増加、これらを除く10学部が減少で、薬(94)、食物栄養科学(87)を除く8学部が大幅減少。共通テスト利用方式(85)は3年連続大幅減少。学部別では、募集を行う11学部中5学部が増加、5学部が減少、1学部が前年度と同数と増減の学部数では拮抗したが、減少した5学部はすべて大幅減少。

<一般方式>

- 文(74)は、改組を考慮して旧文(心理・社会福祉)を除いた比較では、大幅減少で3年連続減少。学科別では、改称した(英語グローバル)(71)は大幅減少で3年連続減少、志願者数は350人を下回った。(日本語日本文)(77)も大幅減少で3年連続減少、志願者数は450人を下回った。
- 心理・社会福祉(81)は、旧文(心理・社会福祉)の改組での学部新設だが大幅減少。学科別志願倍率は、(心理)が6.7倍、(社会福祉)が5.7倍で、いずれも前年度の旧文(心理・社会福祉)の11.5倍からダウン。
- 経営(78)は、2020年度新設の翌年から3年連続大幅減少、2020年度対比では(42)と半減以下。
- 社会情報(85)は、旧生活環境(情報メディア)の改組での学部新設だが大幅減少。専攻別志願倍率は、(社会情報/情報メディア)が8.8倍、(社会情報/情報サイエンス)が5.0倍で、いずれも前年度の旧生活環境(情報メディア)の11.3倍からダウン。
- 教育(81)は、大幅減少で4年連続減少。2019年度新設の翌年から4年連続減少、2019年度対比では(57)と40%以上減少。
- 建築(78)は、2020年度新設の翌年から3年連続減少、2020年度対比では(47)と半減以下。学科別では、(景観建築)(54)は大幅減少で、2020年度対比では(34)とほぼ3分の1。(建築)(88)は減少で、2020年度対比では(52)とほぼ半減。
- 薬(94)は、系統への高い人気から前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。学科別では、4年制の(健康生命薬科学)(112)は2年連続大幅減少の反動で増加。一方で、6年制の(薬)(92)は前年度大幅増加の反動で減少。
- 健康・スポーツ科学(50)は、(スポーツマネジメント)を新設したが半減。学科別では、既存の(健康・スポーツ科学)(38)は激減で志願倍率は8.1倍→3.1倍にダウン。新設の(スポーツマネジメント)の志願倍率はさらに低く1.7倍。
- 看護(187)は、2年連続減少の反動と<一般・前期A2科目型><一般・中期B2科目型(同一配点型)>の新設で90%近く激増。志願倍率は12.9倍→23.6倍にアップ、志願者数は2015年度新設以降初めて1,000人を上回った。
- 生活環境(81)は、改組を考慮して(生活環境)のみの比較で2年連続大幅減少。志願倍率は10.6倍→8.3倍にダウン。
- 食物栄養科学(87)は、前年度増加の反動で減少、2020年度新設以降で最少。学科別では、(食物栄養)(85)は前年度増加の反動で大幅減少、(食物創造科学)(90)は減少で前年度のやや増加から再び減少し、志願者数は200人を下回った。
- 音楽(121)は、大幅増加で4年ぶりに増加。学科別では、(演奏)(170)は前年度大幅減少の反動で激増。(応用音楽)(100)は前年度大幅増加の反動はなく前年度と同数。

<共通テスト利用方式>

- 文(71)は、改組を考慮して旧文(心理・社会福祉)を除いた比較では3年連続大幅減少。学科別では、(日本語日本文)(57)は

- 40%以上の大幅減少で3年連続大幅減少、改称した(英語グローバル)(97)はやや減少で4年連続減少。
- 心理・社会福祉(85)**は、旧文(心理・社会福祉)の改組での学部新設だが大幅減少。しかし、学科別志願倍率は、(社会福祉)が10.5倍、(心理)が9.6倍で、募集人員の減少もあっていずれも前年度の旧文(心理・社会福祉)の8.1倍よりアップ。
 - 経営(116)**は、前年度半減以下の反動で大幅増加、2020年度新設以降初めて増加。それでも、2020年度対比では(53)とほぼ半減。
 - 社会情報(104)**は、旧生活環境(情報メディア)の改組での学部新設だがやや増加。しかし、専攻別志願倍率は、(社会情報/情報サイエンス)が5.5倍、(社会情報/情報メディア)が5.4倍で、前年度の旧生活環境(情報メディア)の5.9倍からいずれもダウン。
 - 教育(61)**は、前年度減少に引き続き大幅減少。志願者数は100人を下回り、2019年度新設以降で最少。
 - 建築(147)**は、2年連続大幅増加。学科別では、(景観建築)(213)は前年度大幅増加に引き続き倍増以上、(建築)(115)は2年連続大幅増加。
 - 薬(71)**は、大幅減少で4年連続減少。学科別では、6年制の(薬)(69)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(健康生命薬科学)(83)は前年度5年連続増加の反動で半減したが、引き続き大幅減少。
 - 健康・スポーツ(100)**は、(スポーツマネジメント)を新設したが前年度と同数。学科別では、既存の(健康・スポーツ科学)(60)は大幅減少で5年連続減少、しかし募集人員の減少で志願倍率は6.0倍で変化なし。新設の(スポーツマネジメント)の志願倍率はこれより低く4.0倍。
 - 看護(111)**は、2年連続大幅減少の反動で増加。
 - 生活環境(134)**は、改組を考慮して(生活環境)のみの比較で3年連続大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率は5.0倍→6.7倍にアップ。
 - 食物栄養科学(51)**は、前年度大幅増加の反動でほぼ半減。志願者数は60人を下回り、2020年度新設以降で最少。学科別では、(食物栄養)(43)は前年度大幅増加の反動で半減以下、2020年度新設以降で最少。(食物創造科学)(94)はやや減少で前年度大幅減少に引き続き2年連続減少。